

第5次行田市総合振興計画 まちづくり指標取組状況報告書

No.	44	指標名	配水管の耐震化率	単位	%	5総振ページ	95
策定時	13.6		50.0				
H23年度末	18.1		45.0				
H24年度末	19.7		40.0				
H25年度末	21.2		35.0				
H26年度末	22.6		30.0				
H27年度末	24.4		25.0				
5年後目標値 (H27年度末)	23.0		20.0				
10年後目標値 (H32年度末)	33.0		15.0				
中間評価結果		5年後目標値を達成		10年後目標値・変更後 (※ H26又はH27年末で10年後 目標値を達成している場合のみ)			
前期(平成23年度～平成27年度)取組状況							
実施年度	実施内容						
H23	耐震性を有する管路を約6.5km布設						
H24	耐震性を有する管路を約8.1km布設						
H25	耐震性を有する管路を約7.9km布設						
H26	耐震性を有する管路を約7.5km布設						
H27	耐震性を有する管路を約9.5km布設						
後期(平成28年度以降)の予定							
<p>今後も引き続き、配水管の更新事業を進め、耐震性を有する管路に更新し、災害時等においても安定した水道水の供給を図っていく。</p> <p>平成28年度は、老朽普通鑄鉄管の更新事業を進め、耐震性を有するダクタイル鑄鉄管への布設替えを実施する。</p>							
備 考							
平成27年度末現在の水道本管の総延長は、約499.3kmであり、うち耐震性を有する管路は約121.8kmである。							